

## 第28回 鳥取県図書館大会の開催結果について

- 1 大会テーマ 「図書館にできること再発見～本と人をつなぐために～」
- 2 主催 鳥取県図書館協会
- 3 共催 鳥取県公共図書館協議会 鳥取県学校図書館協議会  
鳥取県書店商業組合 認定NPO 法人本の学校 鳥取県立図書館
- 4 後援 公益社団法人日本図書館協会
- 5 期日 令和5年8月1日(火)
- 6 会場 とりぎん文化会館(鳥取市尚徳町101-5 電話:0857-21-8700)  
鳥取県立図書館(鳥取市尚徳町101 電話:0857-26-8155)
- 7 参加者 282名(会場:217名、オンライン65名)
- 8 日程・内容

### (1) 開会行事

挨拶:鳥取県図書館協会 会長 齋藤明彦  
鳥取県教育委員会事務局 次長 林憲彰  
鳥取市教育委員会事務局 副教育長 岸本吉弘

### (2) 基調講演

演題:「地域と図書館 つなぐ・つながる」  
講師:田中輝美氏(鳥根県立大学 地域政策学部 准教授)

### (3) 緊急企画

特別対談:「鳥取県図書館協会長×鳥取県立図書館長に聞く」  
講師:齋藤明彦氏(鳥取県図書館協会長)、小林隆志氏(鳥取県立図書館長)  
進行:高橋真太郎氏(鳥取県立図書館支援協力課長)

※当初予定していた記念講演「わたしと本と図書館と」は、講師の山田節子氏(児童書を楽しむ会つくしんぼ代表)の体調不良により中止になり、急遽特別対談を実施した。

### (4) 分科会

	テーマ	講師・発表者等
1	【事例発表】地域とつながる公共図書館	<コーディネーター> ・岩崎武史氏(鳥取県立図書館) <コメンテーター> ・田中輝美氏(前出) <実践事例発表> ・鳥取市立気高図書館・北栄町図書館・境港市民図書館
2	【事例発表】学校図書館の新たな挑戦～県学校図書館支援センターと手をつないで～	<コーディネーター> ・砂場路子氏(鳥取大学附属小学校副校長) <実践事例発表> ・伯耆町立二部小学校・三朝町教育委員会 ・鳥取県学校図書館支援センター
3	【学び方体験】広げよう!読書のカタチと楽しみ:英語学習から見えてきたディスレクシア(読み書き障がい)への寄り添い方	<講師> ・丸山敦子氏(あいざイングリッシュスクール主宰)
4	【ワークショップ】一緒に楽しむ絵本のじかん&やってみよう!子どもが喜ぶグッズづくり	<講師> ・鳥取県教育委員会事務局社会教育課 ※講師の山田節子氏は体調不良のため欠席。
5	【特別分科会: 本の学校文化祭】 ブックスタートの23年 日本での取り組み/世界へのひろがり	<講師> ・佐藤いづみ氏(NPOブックスタート理事) ※主催:認定NPO法人本の学校

## 9 日 程

9:30 10:00 10:15 11:35 11:45 12:30 13:30 15:30

受付	開会 行事	基調講演	休憩	特別対談	休憩	分科会
----	----------	------	----	------	----	-----

10 参加費 鳥取県図書館協会の会員は無料（当日、入会可）※施設・団体会員は所属職員1名無料  
※会員外の方は会場・オンライン参加問わず500円（資料代）。

11 開催方式 会場参加、及びオンライン参加（全体会及び、分科会1・2・5について配信を行う）

12 手話通訳・要約筆記等について

- ・全体会：手話通訳・要約筆記をつけた。
- ・分科会：第1分科会に要約筆記をつけた。（申込時に希望があったもの）

13 主なアンケート（自由記述）

- ・久しぶりの現地開催の大会でした。沢山勉強になりました。
- ・対面で参加できて良かったです。

### <基調講演>

- ・人口減少の時代、減る、減退の時代の中で、図書館にできることが十分にあるのだという可能性を見いだせる講演でした。
- ・幸せな地域社会づくりにおける図書館の在り方がよく分かった。あるものをどう活かすかという発想の転換やアイデアで、学びも、人のつながりも豊かになり、結果的により良い地域づくりにつながっていくことが、たくさん事例を通して具体的に理解できた。
- ・図書館は住民の知の拠点であり、コミュニティをつなぐ場でありたい、そしてそのためにも連携ということがキーワードになると強く感じました。

### <特別対談>

- ・協会の存在意義がわかり良かったです。ネットワークについて努力を続けることが大切だということが分かりました。
- ・司書として県内で働き始めたときから、鳥取県の図書館のネットワークに助けられてきました。これを維持するために、今後も努力が必要という小林館長の言葉が印象に残りました。
- ・「ネットワーク」「連携」などこれからもっと大事につなげて大きくしていく必要があるなと思いました。

### <分科会1>

- ・地域、利用者の方との交流や繋がり、声を大切にされていることがよく伝わり、ボランティアや応援団のアイデアを活かした運営がとてもステキでした。またそれが可能であることを教えて頂きました。
- ・それぞれの図書館へ行ってみたい。地元の方は幸せ。自発的に協力されるのは素晴らしい。地域を巻き込んで一緒になってよい図書館を作り上げて行かれる若いブレインに素晴らしさを感じた。

### <分科会2>

- ・素晴らしい実践の紹介をありがとうございました。改めて、学校図書館だけでなく周りとの連携が大切なことを感じました。自校の状況や児童に合わせた図書館作りをしていきたいと思いました。
- ・学校図書館のいろいろな事例を聞くことができて良かったです。学校図書館に勤務する者として、学校図書館支援センターの存在は心強いものだなど改めて感じました。

### <分科会3>

- ・初めて知ったことが多かったです。個人それぞれに寄り添う大切さ等、大切な事が分かりました。
- ・図書館で読み書き困難のある方への寄り添い方（大人・子ども）をより一層深めたいと思いました。
- ・指導者が気づき、見つけることで子どもたちの可能性が広がるのがよくわかり、もっと深く知りたいたいと思いました。

### <分科会4>

- ・手を動かし、手遊びや絵本の読み聞かせをいただきよい刺激になりました。ほかの図書館さんのお話しも聞けて良かったです。
- ・バッジ作りや豆本作りなど、楽しく手を動かしたり、各所の取組を聞くことができて勉強になった。

### <分科会5>

- ・本を読むことの原点について考えることができ、今後子どもたちに本との関わり方を伝えていきたいです。
- ・ブックスタートの歴史を改めて学ぶことができました。市民の方と協働してまちづくりを行っていきたいです。読み聞かせの大切を改めて伝えていきたいと思いました。

<写真>



【開会行事】



【基調講演】



【特別対談】



【第1分科会】



【第2分科会】



【第3分科会】



【第4分科会】



【第5分科会】